

2023年度「専門特殊研究」研究会一覧（秋学期追加分）

文学学術院

2023年度実施の専門特殊研究の秋学期追加研究会は以下のとおりです。

「科目登録マニュアル」も確認してください。

なお、本内容は講義要項には掲載されていませんので、ご承知おきください。

【専門特殊研究について】

高度な原典購読や資料解読、数理系の問題演習など、少人数による上級者向けの研究会での成果を、学部での履修単位として認定するための科目です。

<履修について>

- 1科目2単位とし、合計8単位を上限に卒業必要単位に算入されます。
- 年間における登録制限単位数、科目数には算入しません。
- 同一の学期に2研究会（4単位）までの単位認定が可能です。
- 入学後2学期目から卒業見込み学期の前学期まで履修することができます。
- 本研究会は科目登録の結果通知には反映されません。

<成績について>

- 学期終了後、一定の条件を満たした研究会において、十分な成果を収めた学生についてのみ、単位の認定を行います。
- 評価は次学期の初めに行われ、実際に参加した次の学期の単位となります。
- 合格の場合、成績証明書には、「専門特殊研究（主副・担当教員名） 配当年度 配当学期）」と記載します。

★各研究会の内容に関するお問い合わせは、以下の担当教員まで直接お問い合わせください。

（以下、学期・曜日・時限・主題名五十音順）

秋学期	火	3時限	実施曜日・時限の 特記事項
参加可能年次 2年以上	主題 スペイン語原典講読：20世紀のラテンアメリカ文学		担当教員 アスアヘアラモ マヌエル

研究概要

本講義は、いわゆる「ラテンアメリカ文学ブーム」の代表者による短編小説と長編小説の抜粋を読むことによって、1960年代以降のラテンアメリカ文学の特徴の理解を深めることを目的とします。スペイン語原文でこれらの作品を読むことによって当時の時代背景や文壇の流れについて把握します。履修者の興味・関心と研究領域に寄り添う形で、主に、ホルヘ・ルイス・ボルヘス、ガブリエル・ガルシア＝マルケス、マリオ＝バルガス＝ジョサ、フリオ＝コルタサル、カルロス＝フエンテスの作品をスペイン語で読みます。

使用文献

Gabriel García Márquez, "Todos los cuentos." De Bolsillo (2013/6/1)、その他配布資料による

活動記録の内容、提出方法

試験:0% 特になし
試読: 35% 読んだ作品やエッセイのうち、一つを選び一部分を日本語に訳し、解釈を付する。
平常点評価:35% 授業参加や、受講生のプレゼン内容確認の質問への応答。
その他:30% プレゼンテーション: 自分の関心または研究領域に結びつけた形で使用文献について短い発表をする。

受講者選考方法

原典をスペイン語で読むため、上級のスペイン語能力を要します。そのため、選考方法として9月23日から10月4日の間に受講希望者と個別面談を行います。受講希望の方は、10月2日までに担当教員のメールアドレス(mazuajelamo@waseda.jp)にご連絡ください。

備考

作品をめぐるディスカッションは履修者のレベルに合わせる形で日本語またはスペイン語で行います。

